

2023. 9. 28

< 配信枚数2枚 >

報道関係者 各位

**うめきた 2 期地区開発事業 グラングリーン大阪の中核機能施設「JAM BASE」に
立命館うめきた発信・交流拠点を開設
小中高大院一貫の「立命館」だからこそ生み出せるアントレプレナー育成・ネットワーク形成の場**

学校法人立命館(京都府京都市、総長:仲谷善雄、以下 立命館)は、特長ある研究・起業シーズを社会へと発信し、企業・自治体・大学などとの多層的な交流を通じて、社会課題の解決や新たな事業を共創するためのオープンイノベーション拠点を、2024 年 9 月にグラングリーン大阪中核機能施設「JAM BASE」に開設いたします。

■立命館うめきた発信・交流拠点創設の背景

立命館では、2030 年に向けた中期計画「学園ビジョン R2030—挑戦をもっと自由に—」を掲げ、立命館大学 16 学部 21 研究科が領域を越えて融合する総合知をベースとしながら、次世代研究大学および小学校から大学院までの次世代探究学園を創造すべく、社会共生価値の創出、イノベーション・創発性人材育成の実現を目指しています。2024 年 4 月には、映像学部・研究科と情報理工学部・研究科が大阪いばらきキャンパス(以下、OIC)において新たな展開をスタート。リアルとバーチャルが融合するクリエイティブなキャンパスで社会課題の解決を推進する「TRY FIELD OIC 2024」への挑戦を推し進めます。グラングリーン大阪のメッセージでもある「ごちゃまぜって、イノベーションだ」と多くの共通点を持つ「TRY FIELD OIC 2024」。今回創設を決めた新拠点を、関西のイノベーション創出拠点“うめきた”における立命館の先進拠点と位置づけ、立命館の特長的な研究・起業シーズを社会へと発信するとともに、企業・自治体・大学などとの架け橋となり、社会共創や地域課題の解決をおこなう人材育成拠点となることを目指します。

■発信・交流拠点の特長

(1)小中高大院一貫教育の「立命館」だからこそできる人材育成・ネットワーク拠点

本拠点は、研究発信、交流、各種イベント等に利用できる可変性の高いレイアウトの中で、イノベーションの種を「集める」、「撒く」、「発芽させる」という 3 つの機能をあわせもつ新しいプラットフォームです。立命館大学が持つ学問領域を越えて融合する総合知、さらには、小学校から大学までの一貫教育が育むアントレプレナー育成プログラムが、うめきたにおいて多様なプレイヤーと混ざり合うことで、これまでにない化学反応を起こし、社会に新たな価値を生み出します。



(2) 多様なプレイヤーが集い化学反応を起こす

本拠点では、あらゆるプレイヤーが集い、相互に発信・交流することで、イノベーションの種を生み出し続けます。平日朝は企業人のニーズを満たす朝活の場、土曜日の昼間は立命館大学生による小学生向け企画、土曜夜は起業家の卵を集めたピッチイベントなど、利用者のニーズと活動時間帯に合わせた多様なプログラムを展開予定です。

また、関西最大級のビジネスリソースをもつ「うめきた」という立地を生かして、関西圏の他大学(学生・研究者)や研究機関とのハブ機能を担い、研究連携や学生ベンチャー育成の先端拠点となることを目指します。その中で、これまで培ってきた教育プログラムや研究者ネットワークを生かし、大学ならではの価値を提供していきます。

(3) 立命館学園が生み出す社会共創フィールドの先進拠点として

立命館大学は京都・大阪・滋賀に4つのキャンパスを持ち、分野を越えて融合する総合知をベースとしたオープンイノベーション拠点として、すでに多くの社会共創の場(以下、参照)を創出しています。これらの取り組みをより尖らせ、幅広く、うめきた新拠点においても展開を図っていきます。この拠点では、社会課題解決やオープンイノベーションにおける様々な先見性や実績を持つ方をプレイヤーとして招き、事業共創を加速します。



▲RIMIX (小中高大院を巻き込んだ本気の起業家育成と10億円規模の投資ファンド)



▲OIC CONNECT (Venture Café Tokyo と連携した地域イノベーション促進/交流プログラム)



▲R-GIRO (異分野融合と若手研究者育成により実現する「世界的な研究拠点」づくり)



▲RARA (私立大学の限界を超えて挑戦する、トップ研究者・大学院生の集結)

以上

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当: 立岩・名和

TEL.075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumei.ac.jp